

ちばの里山 LIFE 体験交流事業実施報告書 (10)

主催：千葉県

企画運営：NPO 法人ちば里山センター

協力：林業女子会@東京

題 名	森活を楽しもう②「里山体験ツアー」
日 時	平成 29 年 1 月 21 日 (土) 10:00~16:00
会 場	市原市東国吉ふれあいの森
出席者	参加者 15 名 スタッフ 11 名 (ちば里山センター 3 名、林業女子会@東京 8 名) 講師 1 名、千葉県森林課 1 名
内 容	8:10 東京駅出発 10:00 挨拶 10:30~12:00 篠竹伐採 12:00 昼食 13:00~14:00 コースターづくり 14:30~15:00 スギ伐倒見学 15:10~15:40 上総掘りの説明 16:00 出発(菅田駅、東京駅へ)
報 告	<p>林業女子会@東京、「森活を楽しもう」の二回目、日帰りの里山体験ツアー。</p> <p>東京駅八重洲中央口 8 時、参加者が集まりバスに乗り込み出発した。バスの中では千葉県についての「バスレク」があり、和やかに過ごした。途中混雑もなく菅田駅で 4 人を乗せ、10 分ほどで東国吉に到着した。東国吉交差点近くのパーキングで降車し、ヘルメット、ノコギリなど身支度を整え、森に向かった。</p> <p>広場では「ふれあい千葉」の皆さんがスタンバイしていた。代表の藤崎義雄さんが、ふれあいの森、なえどこ林業女子の森、東国吉遊育の森について概要を説明した。「作業中ケガの無いように」と注意を喚起した。千葉県森林課澤口副主査は「千葉県も里山活動を応援している。里山を楽しんでほしい」と挨拶した。</p> <p>ストレッチを行い、竹ノコギリの使い方を学ぶと作業を始めた。4 つのチームがエリアごとに刈り進めた結果、小一時間で、だいぶ見通しが良くなり、シイタケの恵みも見つけることができた。</p> <p>残りの一時間でさらに伐採を進めた。現場を確認すると、日の光がたつぷりと入る縦 50m × 横 10m ほどの広場ができた。「どんな植物が芽を出すのか楽しみ」とささやく声も聞こえた。</p> <p>昼食には千葉の食材をふんだんに使ったお弁当が届き、野菜農家さんの食材について説明を聞きながら、彩りと味を楽しんだ。食後のデザートに、マシュマロと干しイモの焚火炙りを楽しんだ。</p> <p>その後、コースターづくりに取り掛かった。思いのほかてこずるノコギリで、スギ丸太を薄切りにした。次々に出来上がる薄切りを手にあちこちから笑みがこぼれた。</p> <p>続いてスギの伐倒を見学した。伐倒を担当する林業女子会のメンバー N さんは、IT 企業に勤めていたが、かねてから自然風景に興味を持っていたある日、林業女子の情報を見つけ、「こ</p>

れだ」と思い、林業関係会社に転職とのことでした。伐倒担当のもう一人Mさんも同様の道をたどって林業関連会社に転職したそうです。

伐倒作業はロープと滑車で伐倒角度の修正ができるようにした。受け口から追口とチェーンソーがうなりを上げるとスギはゆっくりと倒れ、ズシーンと地響きを上げた。枝払い、玉切りと連続する伐倒木の処理に見学者から驚きの声が漏れた。

里山体験プログラムを終了し、広場をあとにした。東国吉遊育の森では上総掘りで掘った井戸と竪穴住居の模型を見学した後、県道にある上総掘りのデモ器の前で、井戸掘り職人さんから上総掘りの説明をしてもらった。ヒゴ車に乗る人力の掘り方体験に三人が挑戦した。

日も傾き、里山体験ツアーは終わりに近づいた。駐車場で使ったクリーニングしたノコギリを、ヘルメットとともに返却し、バスに乗り込み、東京駅へ向かった。

朝から風もなく穏やかな日差しに恵まれ、豊かな里山体験ができた。

添付資料（写真）



ふれあい千葉・藤崎代表とメンバー



森林課澤口副主査の挨拶



伐採作業中



広場になりました



千葉県産食材のお弁当



いただきます



マシュマロ炙りも格別です



集合しました



カがこもるコースターづくり



林業女子として働くメンバー



チェーンソーで追口を入れる



切り口の見本



東国吉遊育の森



ヒゴ車でデモ体験



ノコギリをメンテして返却